

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 3 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしく
お願いします。

記

1 情報の内容

広域調査における水稲主要病害虫の発生状況等（7 月）について

2 発生状況等

(1) いもち病（葉いもち）

- 1) 7 月中・下旬に県下全域の早期及び普通期水稲（220 圃場）を調査した結果、発生圃場率は 27.3% であり、平年（19.5%）に比べやや高かったが、昨年及び一昨年に比べるとやや低かった（図 1）。
- 2) BLASTAM（気象条件を基にいもち病菌の感染しやすい日を推定するシステム）では、7 月上旬に感染好適条件（+）が 14 地点中のべ 8 地点で認められたが、中旬以降は準感染好適条件（±）は出現するが感染好適条件は認められていない。なお、7 月の準感染好適条件は昨年に比べ少なかった（病害虫防除所ホームページ掲載データを参照）。
- 3) 気象予報（1 か月予報：8 月 10 日発表）では、気温は高く、降水量はほぼ平年並とされており、発生にやや抑制的であるが、台風 6 号・7 号の影響により降水量が多かった地域では注意が必要である。

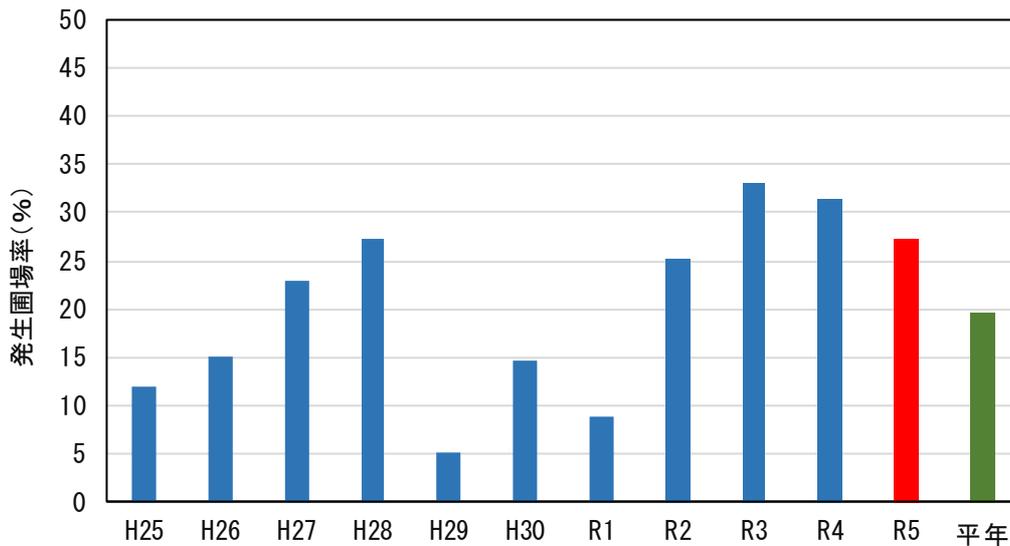


図1 いもち病(葉いもち)の年別発生状況(広域調査:7月)

(2) 紋枯病

- 1) 広域調査（220 圃場）の結果、発生圃場率は13.2%、発生度は4.7であり、発生圃場率、発生度ともに平年（発生圃場率：19.5%、発生度：6.5）に比べやや低かった（図2、図3）。

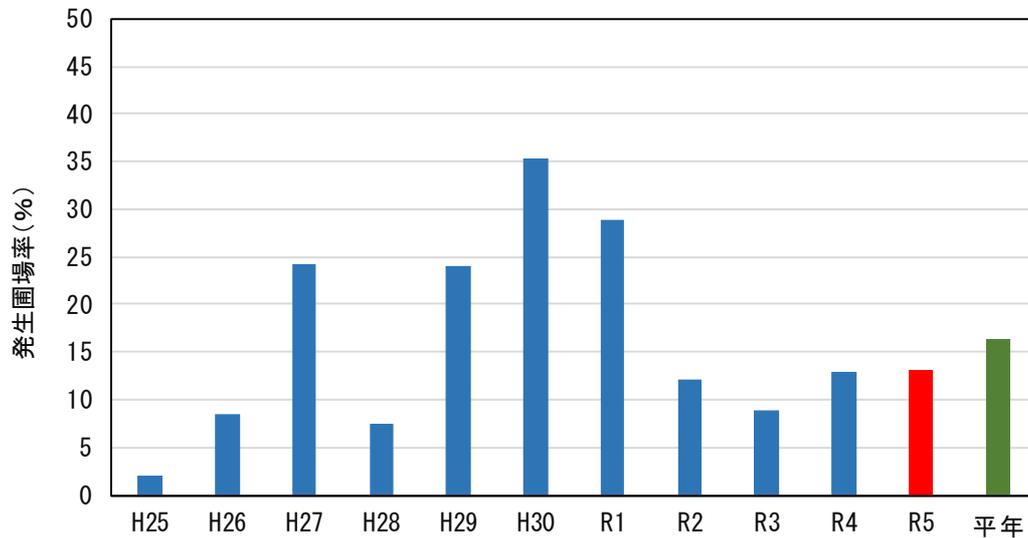


図2 紋枯病の年別発生状況(広域調査:7月)

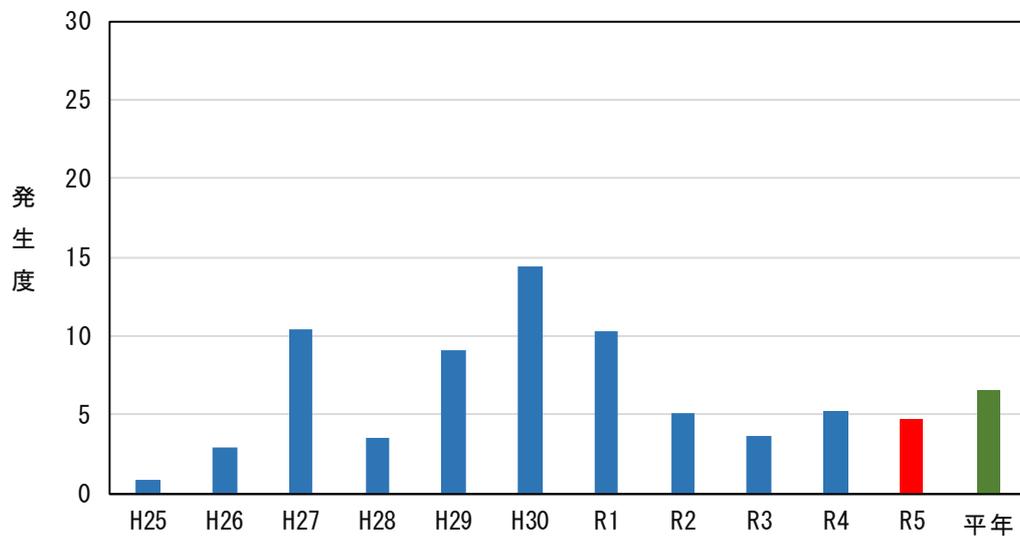


図3 紋枯病の年別発生状況(広域調査:7月:発生度)

(3) トビロウカ

- 1) 広域調査（県下全域：220 圃場）では、発生は確認されなかった。
なお、広域調査以外で7月21日に南予の1圃場、8月1日の広域調査で中予の1圃場で発生を確認している（図4）。

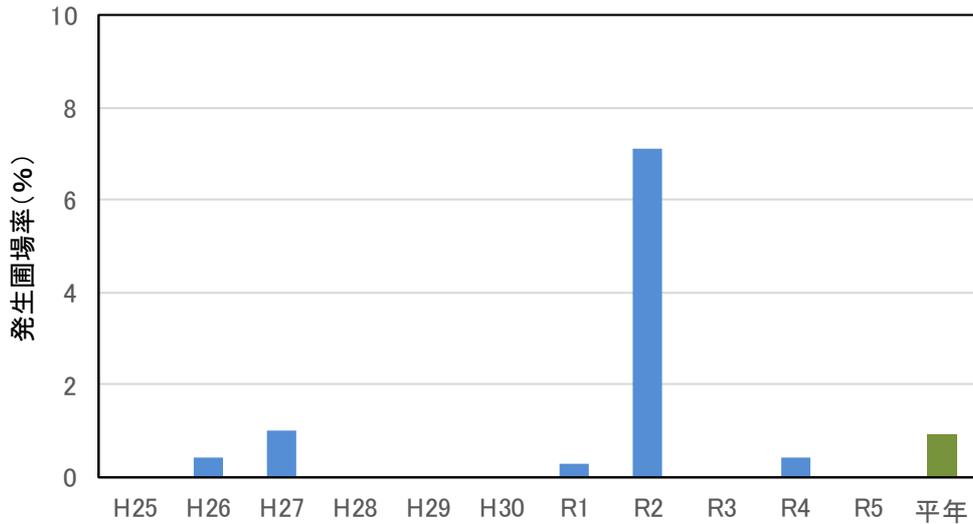


図4 トビイロウンカの年別発生状況(広域調査:7月)

2) 予察灯では、7月1日に愛南町で飛来を初確認(1頭)したが、それ以降は8月第1半旬まで認められていない。また、愛南町以外の4地点(西条市、松山市、松前町、久万高原町、西予市)の予察灯では、未確認である。

なお、8月1日に発生を確認した中予の圃場では幼虫が確認されており、幼虫の発育ステージから、セジロウンカの飛来が多かった7月2~8日頃の間には主要な飛来があったものと推定される。

7月2日及び8日を初飛来日とする今後の発生をシミュレーションすると、防除適期となる第2世代幼虫の時期は8月第4~6半旬と推定された。また、主に坪枯れ被害を発生させる第3世代幼虫の時期は9月第3~6半旬と推定された(下図参照)。

トビイロウンカ発生予想図 (2023年8月4日作成 アメダス地点:松山)

| | | 8 月 | | | | | |
|-------------|--|------|------|------|------|------|------|
| | | 第1半旬 | 第2半旬 | 第3半旬 | 第4半旬 | 第5半旬 | 第6半旬 |
| 7月2日 飛来→ | | ①成虫 | ②卵 | ②幼虫 | | | |
| 7月8日 飛来→ | | ①幼虫 | ①成虫 | ②卵 | ②幼虫 | | |
| | | 9 月 | | | | | |
| | | 第1半旬 | 第2半旬 | 第3半旬 | 第4半旬 | 第5半旬 | 第6半旬 |
| 7月2日 飛来→ | | ②成虫 | ③卵 | ③幼虫 | | | ③成虫 |
| 7月8日 飛来→ | | ②成虫 | ③卵 | ③幼虫 | | | |

①: 第1世代 ②: 第2世代 ③: 第3世代

発育零点12.0℃、発育上限温度28.5℃、発育停止温度33.0℃
 有効積算温度 成虫100.0℃、卵109.4℃、幼虫189.4℃
 アメダス地点: 松山 2023年8月3日まで実測、以降平年値
 JPP-NET 有効積算温度計算シミュレーション version2 により算出

(4) コブノメイガ

1) 広域調査の結果（県下全域：369 圃場：8 月第 1 半旬も含む）では、発生圃場率は 23.3%であり、平年（24.5%）とほぼ同等であった（図 5）。

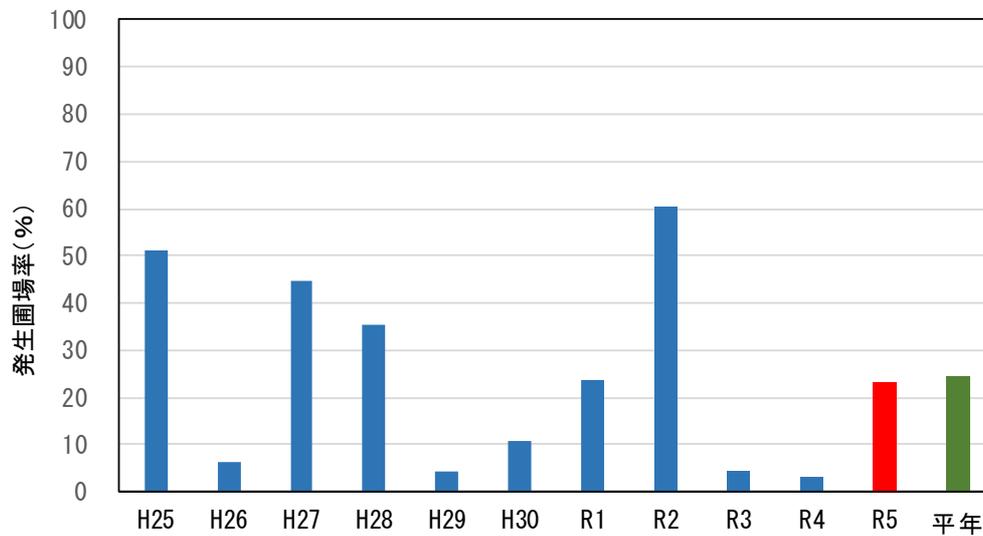


図5 コブノメイガの年別発生状況(広域調査:7月)

2) 予察灯では、7月31日に松前町で飛来を初確認（1頭）、7月20日に愛南町の圃場で幼虫が確認され、発育ステージからセジロウンカが多かった7月2～8日頃の間に主要な飛来があったものと推定される。7月2日及び8日を初飛来日とする今後の発生をシミュレーションすると、第2世代幼虫の時期は8月第2～6半旬と推定された（下図参照）。

コブノメイガ発生予想図（2023年8月4日作成 アメダス地点:松山）

| | | 8 月 | | | | | |
|-------------|-----|------|------|------|------|------|------|
| | | 第1半旬 | 第2半旬 | 第3半旬 | 第4半旬 | 第5半旬 | 第6半旬 |
| 7月2日 飛来→ | ①成虫 | ②卵 | ②幼虫 | | | ②蛹 | |
| 7月8日 飛来→ | ①蛹 | ①成虫 | ②卵 | ②幼虫 | | | |
| | | 9 月 | | | | | |
| | | 第1半旬 | 第2半旬 | 第3半旬 | 第4半旬 | 第5半旬 | 第6半旬 |
| 7月2日 飛来→ | ②成虫 | ③卵 | ③幼虫 | | | | |
| 7月8日 飛来→ | ②蛹 | ②成虫 | ③卵 | ③幼虫 | | | |

①: 第1世代 ②: 第2世代 ③: 第3世代

発育零点 成虫13.0°C、卵12.9°C、幼虫12.5°C、蛹14.2°C
 有効積算温度 成虫50.0°C、卵49.0°C、幼虫250.0°C、蛹87.0°C
 アメダス地点: 松山 2023年8月3日まで実測、以降平年値
 JPP-NET 有効積算温度計算シミュレーション version2 により算出